

令和3年度 早川町教育委員会活動の点検・評価を公表します

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しています。

早川町教育委員会では、それぞれの項目について前年度の点検・評価を行い、上・中・下の3段階による評価を実施しました。評価の結果と各項目に対しての所見は次のとおりです。

教育委員会では今回の点検・評価の結果を踏まえて、事務改善を図りながら更なる教育行政の推進に努めてまいります。

令和3年度早川町教育委員会活動の点検・評価 (委員3名・職員7名=10名)

項目	観 点	R1 評価	R2 評価	R3評価	上	中	下	所 見
総合評価	① 魅力的な山村の学校教育の実現を目指す。	上	上	⊕ 中 下	6	4	0	<p>昨年に続くコロナ禍の中で、日常生活はもとより学校教育・社会教育全般に影響があった一年となったが、学校での感染者を出すことなく、休校等も行わず、最小限の影響で教育活動が行えた。</p> <p>そのような状況下だが、早川町長期総合計画、教育大綱等に基づき、早川教育の確立に向けて、学校、地域、教育委員会、行政の関係各機関が緊密な連携を図り、教育行政に取り組んでいた。コロナの終息は先が見えないが、引き続き取り組んでいく。</p> <p>山村の小規模校であるメリットを最大限に生かし、各学校において個性と特色のある学校運営を推進すると共に、地域住民との連携による地域ぐるみの教育の充実に努めている。</p> <p>社会教育においては、1年延期された東京オリンピック聖火リレーを赤沢宿で開催でき、社会体育と文化財保護の両面での成果を上げることができた反面、少子高齢化による伝統的山村文化の担い手が減少し、文化の保存、継承は厳しい状況に置かれている。生涯学習等を通じ、伝統文化の継承に努めると共に、文化財の積極的な保存・保護に努める必要がある。</p>
	② 学校・地域ぐるみの教育の充実に努める。	中	上	⊕ 中 下	5	5	0	
	③ 社会教育の充実に努める。	中	中	⊕ 中 下	1	8	1	
	④ 伝統的山村文化の保存・継承と創造に努める。	中	中	⊕ 中 下	1	9	0	
学校教育	⑤ 生きるちからを育む教育を推進する。	上	中	⊕ 中 下	3	7	0	<p>児童生徒数の減少が続いている中、各学校の特色を生かした少人数教育を積極的に推進し、学校現場と地域との密接な交流を通じて、小中3校体制での早川教育の推進を図っている。</p> <p>義務教育経費無償化事業・給食費無料化事業を継続する事により、義務教育に掛かる子育て世代の負担軽減を図り、子育てしやすい環境の整備に努めている。</p> <p>小規模校ゆえの教員配置等のデメリットを解消し教育水準を向上するため、町単教員を配置する事で、複式学級の解消に努めている。</p> <p>教育現場でのICT環境整備のため一人一台タブレットの推進等、時代や環境の変化に応じた設備整備を適宜行うとともに、学校施設長寿命化計画に則り、経年劣化による改修等を実施し、快適な教育環境の提供に努めている。ギガスクールにより整備したICT機器の家庭持ち帰りを含めた今後の学校現場での活用が、今後の課題となる。</p> <p>南小の吹奏楽、北小の民話劇や自然体験活動、中学校の合唱や白鳳太鼓等、それぞれの学校が特色ある教育を行っている。児童生徒数の減少で厳しい面もあるが、今後もその活動が継続できるよう教育委員会はもとより、地域ぐるみで支援していく。</p> <p>小中学校における不登校等諸問題の解決には、学校・教育委員会・保護者が相互に連携しその解決に努めている。</p> <p>山村留学は、コロナ禍の新しい取り組みとして、オンラインによる説明会を定期的に開催し、3世帯4名の児童生徒を新年度に迎え入れることとなり、一定の成果をあげることができた。コロナ禍が続く中で難しい側面もあるが、課題であった北学区での住宅の整備が実現したことや、留学後のギャップ解消等関係機関と連携した取り組みの強化により、児童・生徒の確保につながる取り組みを加速させる。また、SNS等を活用した積極的な情報発信により、地域と学校の魅力を一層発信し、新たな留学希望者の発掘と留学生の増加により児童生徒数の確保につなげていく。</p>
	⑥ 少人数教育の充実を図る。	上	上	⊕ 中 下	8	2	0	
	⑦ 充実した教育機器と学校施設の活用を図る。	上	上	⊕ 中 下	8	2	0	
	⑧ 個性ある学校の充実に努める。	上	上	⊕ 中 下	8	2	0	
	⑨ 学校間の交流を推進する。	中	中	⊕ 中 下	2	8	0	
	⑩ 山村留学の推進を図る。	上	上	⊕ 中 下	6	4	0	
	⑪ 学校開放と地域との連携を図る。	中	中	⊕ 中 下	2	8	0	
社会教育	⑫ 生涯学習の推進を図る。	中	中	⊕ 中 下	2	7	1	<p>昨年に続きコロナ禍のためイベントの中止もあったが、1年延期された東京オリンピック聖火リレーを赤沢宿で開催し、十分な評価を得ることができた。また、制約がある中ではあったが、グランドゴルフ大会等を通じて、町民が気軽にスポーツに親しめる機会を提供することができた。高齢化等による参加者の減少が課題となるため、引き続き広報活動や新種目の普及に努め、生涯スポーツの推進を図っていく。</p> <p>郷土資料館等文化財の認知度はまだ低いと、そのPRと有効活用の検討をしていく必要がある。</p> <p>少子高齢化の中、伝統芸能・行事の保存には苦慮している。しかし、転入住民の積極的な参加により活性化している例も増加していることから、それぞれの価値を再確認し積極的な住民参加を促し、保存、人材育成を図る。</p> <p>これまで残されている生活文化に関わる貴重な文献や資料を収集整理し、閲覧を可能にするとともに、転入住民や若い世代に対する啓蒙活動も不可欠である。</p> <p>重伝建の保存と活用について、集落を含めた審議会を開催することにより、今後の保存事業はもとより保存地区全体の先行きについて話し合うことができた。引き続き地域の保存意欲の醸成に向けて助言していく。</p>
	⑬ 生涯スポーツの推進を図る。	上	上	⊕ 中 下	7	3	0	
	⑭ 郷土資料館の整備と充実及び運営を行う。	中	中	⊕ 中 下	0	9	1	
	⑮ 伝統芸能・行事等の保存と人材育成を図る。	中	中	⊕ 中 下	1	7	2	
	⑯ 生活文化等の保存に努める。	中	中	⊕ 中 下	1	8	1	
	⑰ 伝統的な町並みの保存と継承に努める。	中	中	⊕ 中 下	4	6	0	
教育委員	⑱ 教育委員は誠実に職務を遂行していますか。	上	上	⊕ 中 下	7	3	0	委員の交代等あったが、毎月の定例会を通じて教育行政全般について厳正な審議が行えた。また、コロナ禍で学校行事や県・峡南地区委員会行事も中止・縮小される中ではあったが、学校訪問等を通じて教育環境を把握し、諸問題の解決に向けて話し合い、迅速に対応することができた。
事務局	⑲ 事務局職員は誠実に職務を遂行していますか。(服務・接客など)	上	上	⊕ 中 下	5	5	0	教育長以下事務局員がほぼ一新した中で、コロナ禍の難しい対応もあったが、一丸となって業務にあたることができた。今後も部署内の連携を密にして、更なる早川教育の推進に努める。また、様々な要求に対して真摯にかつ速やかに対応していく。